

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

組立説明書は組立て後も大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの……

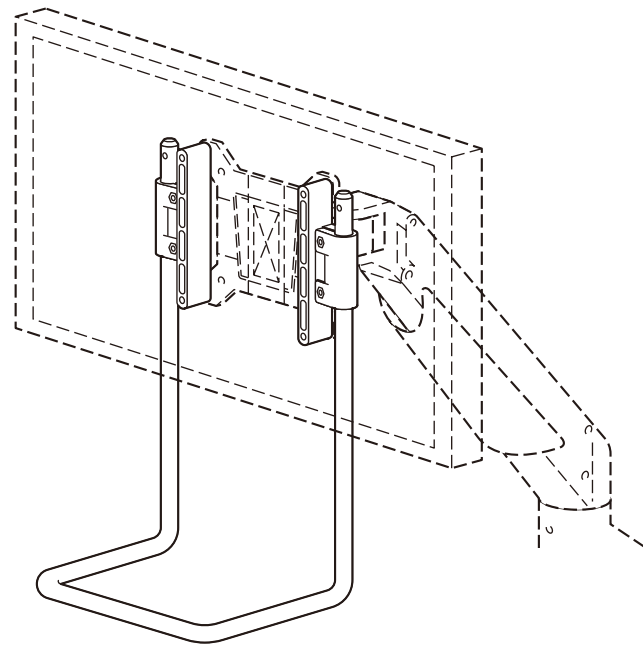
手袋(組み立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)

完成図

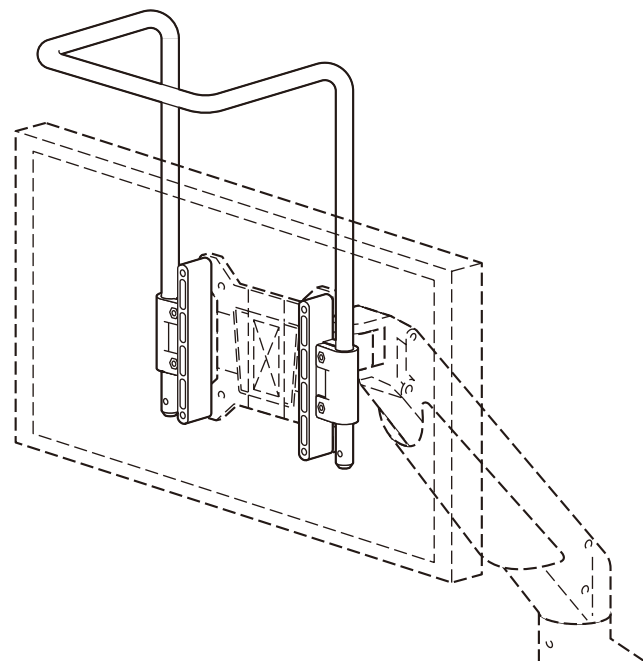
※本製品は組立て方法によって下図のように2通りの使い方ができます。

※ハンドルをディスプレイの上、下どちらにするかによって、組立て手順 4)以降が異なります。

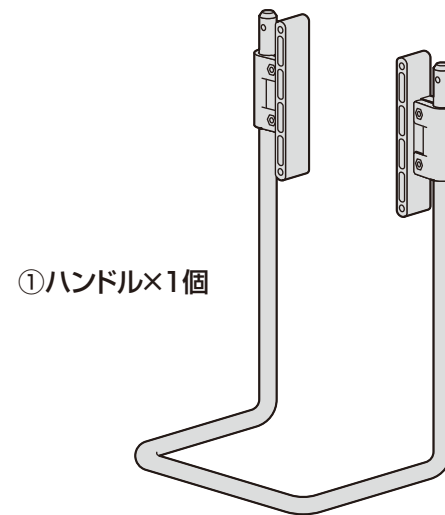
A ハンドルをディスプレイの下に取付ける場合



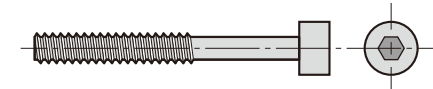
B ハンドルをディスプレイの上を取付ける場合



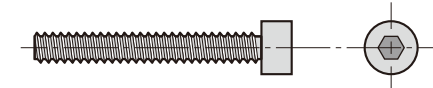
組立て部品



使用ボルト



②ボルトA×4本 (M4×35)



③ボルトB×4本 (M4×30)

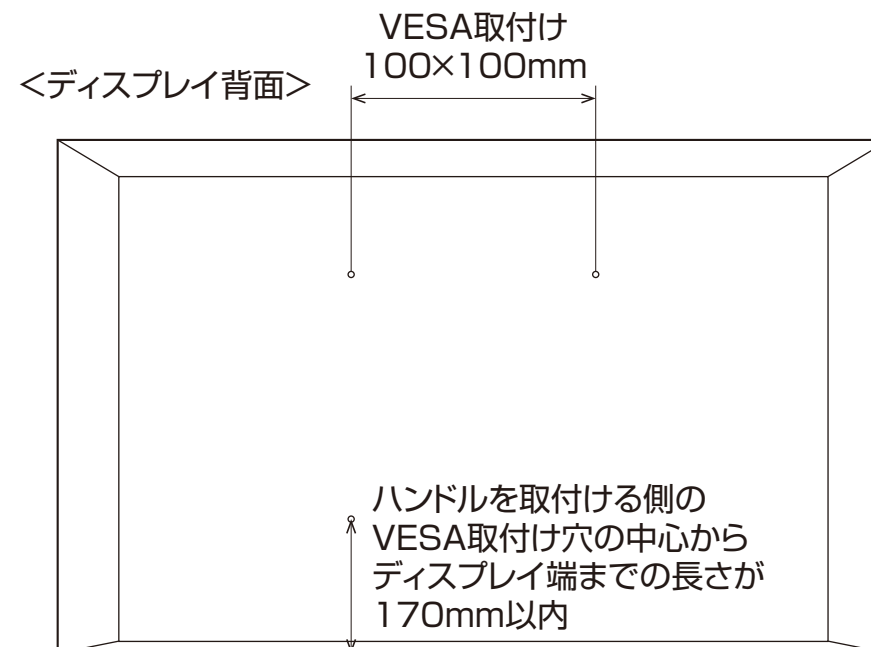


④六角レンチ(3mm)×1本

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(100-VESA009など)と上記の部品番号(①~④)と部品名(ボルトAなど)をお知らせください。

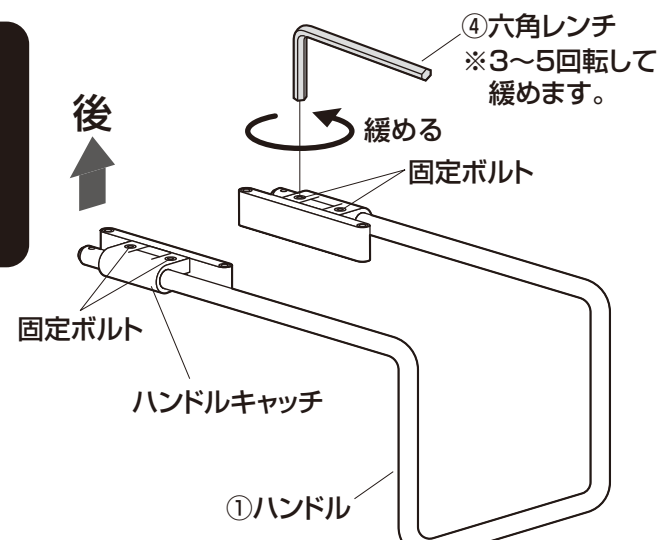
取付けの前にご確認ください。

- ⚠ VESA 100×100mmのモニターアームに取付けが可能です。
- ⚠ VESA取付け穴の中心からディスプレイ端までの長さを測り、170mm以内であることを事前に確認してください(最大27インチ程度が目安です)。
- ⚠ ディスプレイのコネクタ接続位置やケーブル類がハンドルと干渉する場合、取付けできないことがあります。

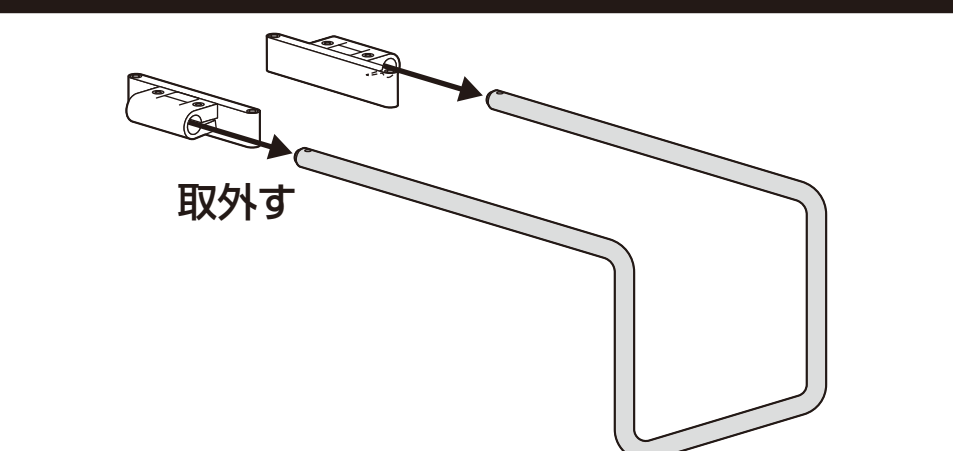


1 ハンドルキャッチの固定ボルトを緩めます。

注意
ハンドルキャッチの固定ボルトは完全に外さないようご注意ください。

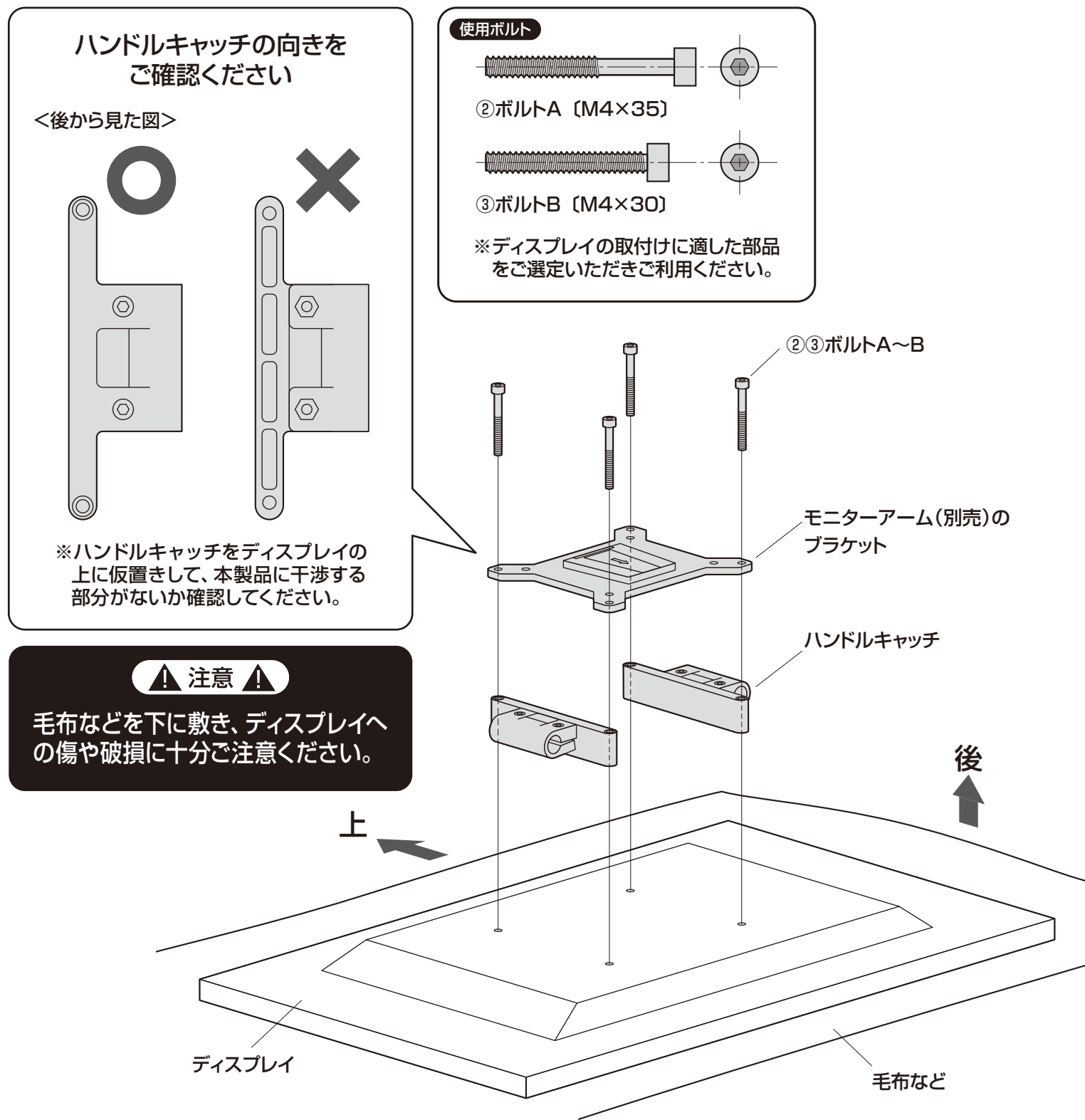


2 ハンドルキャッチからハンドルを取外します。



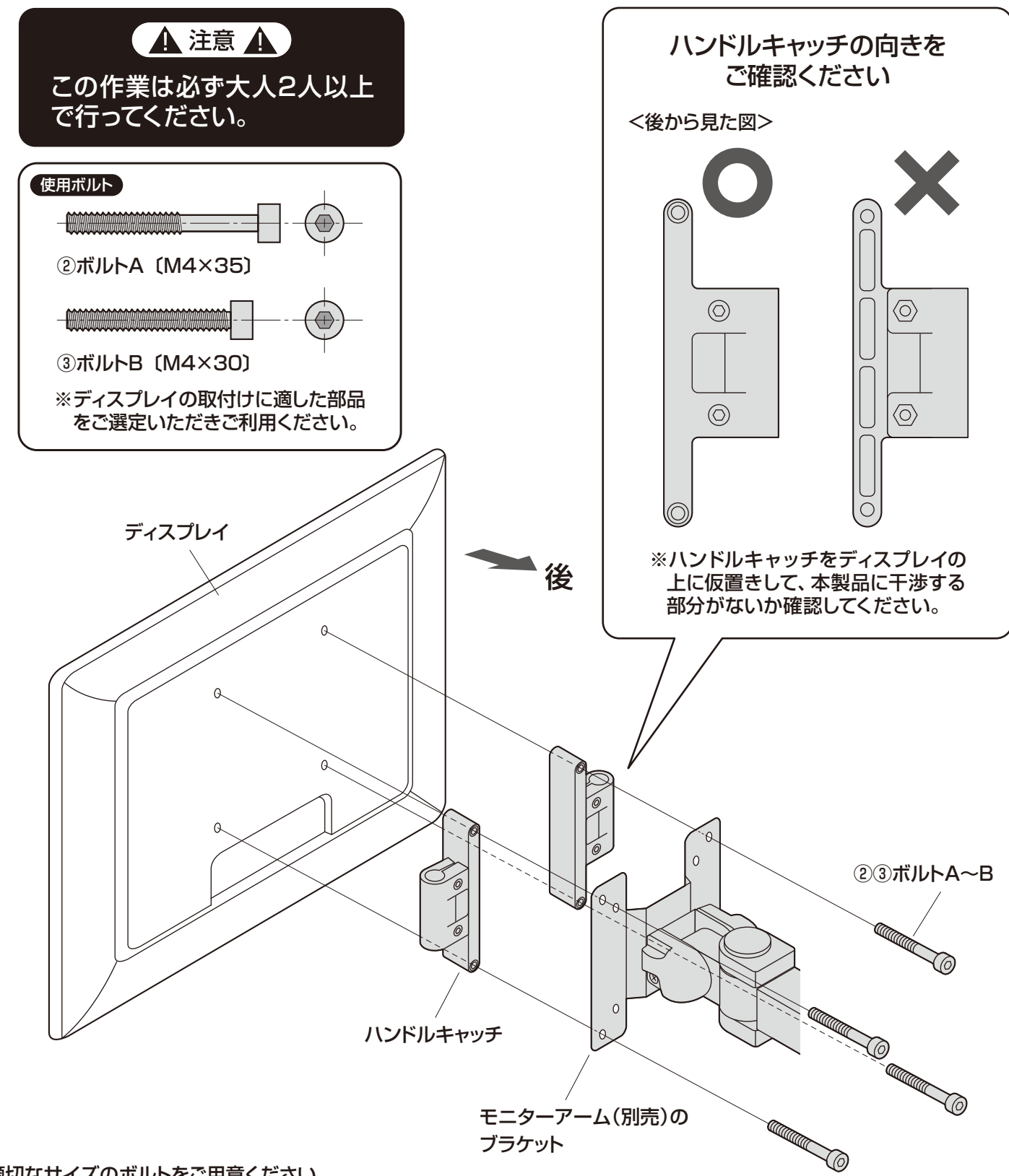
3 ディスプレイにハンドルキャッチとモニターアームのブラケットを取付けます。

<ブラケット着脱式のモニターアームの場合>



⚠ 注意 ⚠
毛布などを下に敷き、ディスプレイへの傷や破損に十分ご注意ください。

<ブラケット一体型のモニターアームの場合>



※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意の上、市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。

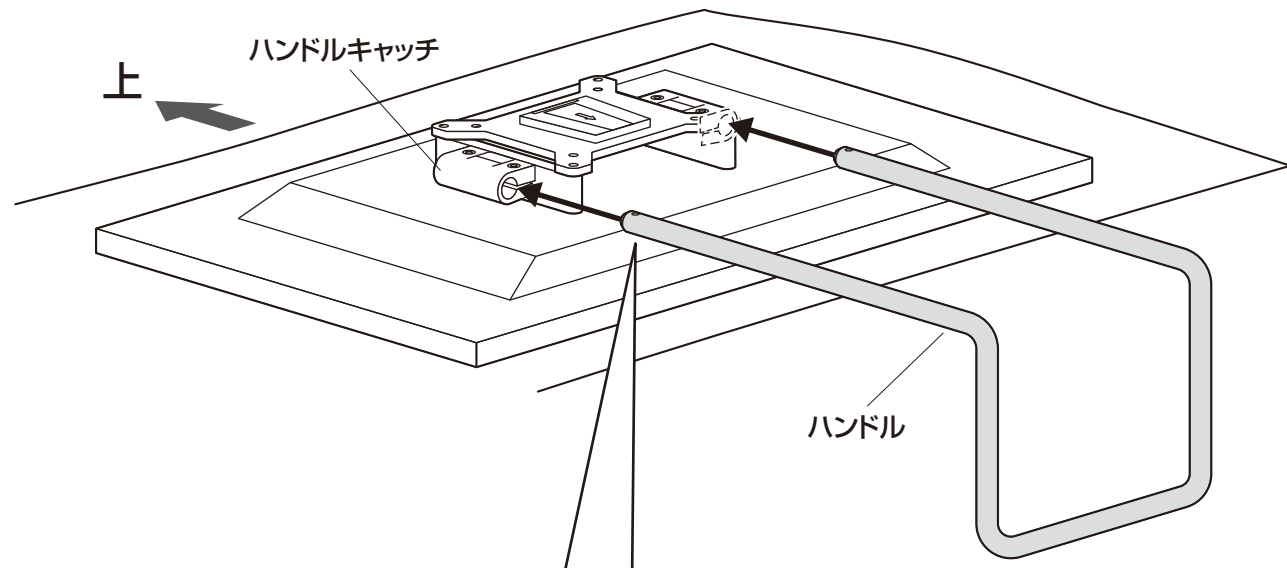
⚠ 注意 ⚠ ボルトが長すぎるとディスプレイを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとディスプレイがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの長さは各ディスプレイによって異なります。必ずディスプレイの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。

⚠ 注意 ⚠ ディスプレイに付属しているスタンド類は取外してください。スタンド類の取外し方法はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。

A ハンドルをディスプレイの下に取付ける場合

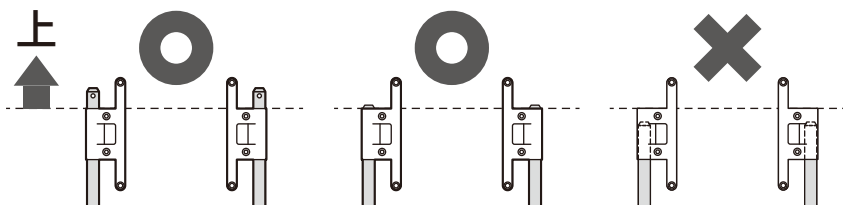
4 ハンドルをハンドルキャッチの穴に通します。

※下図はブラケット着脱式モニターアームのイラストになっています。



ハンドル上端部はハンドルキャッチの穴より上に出してください。

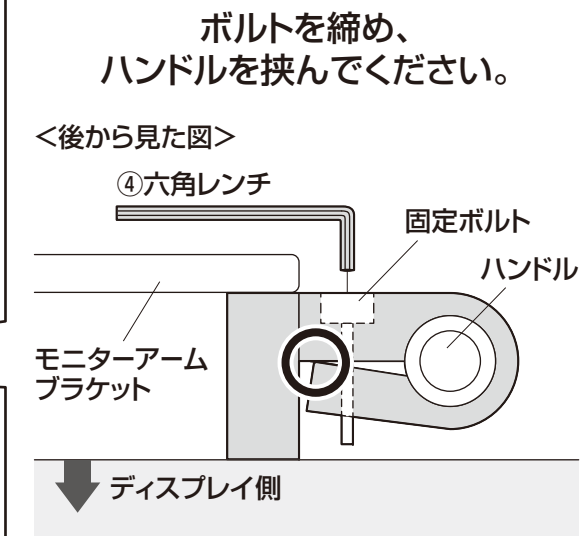
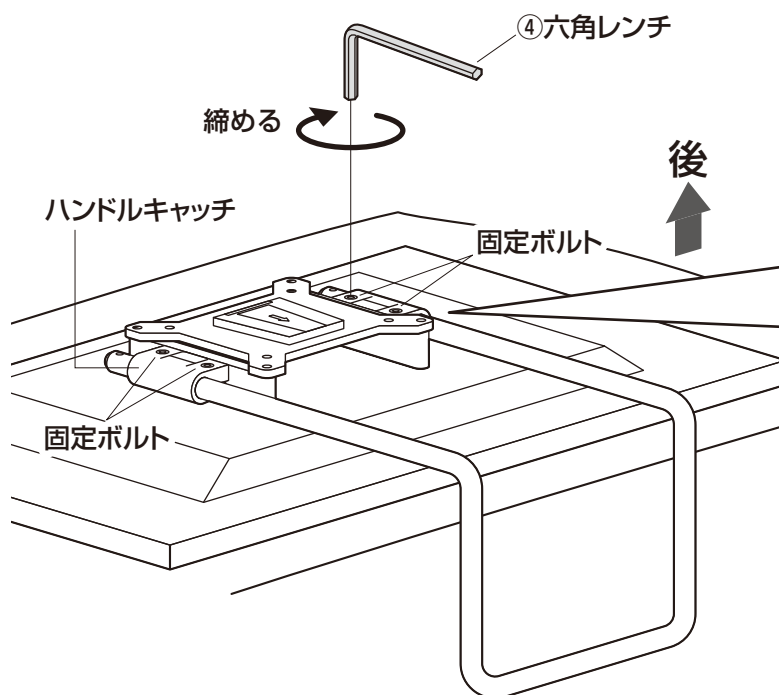
※ハンドルが外向きに広がっている場合、少し内側にすぼめるとハンドルキャッチの穴に通しやすくなります。



5 ハンドルキャッチを固定します。

※下図はブラケット着脱式モニターアームのイラストになっています。

ハンドルキャッチの固定ボルトを締め付けて固定します。



※固定ボルトを必要以上に締め付けると、ハンドルキャッチやハンドルが破損する恐れがあります。
※締め付け後はハンドルにグラつきがないかを必ず確認してください。

6 モニターアームにディスプレイを取付けて完成です。

⚠ 注意 ⚠

この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

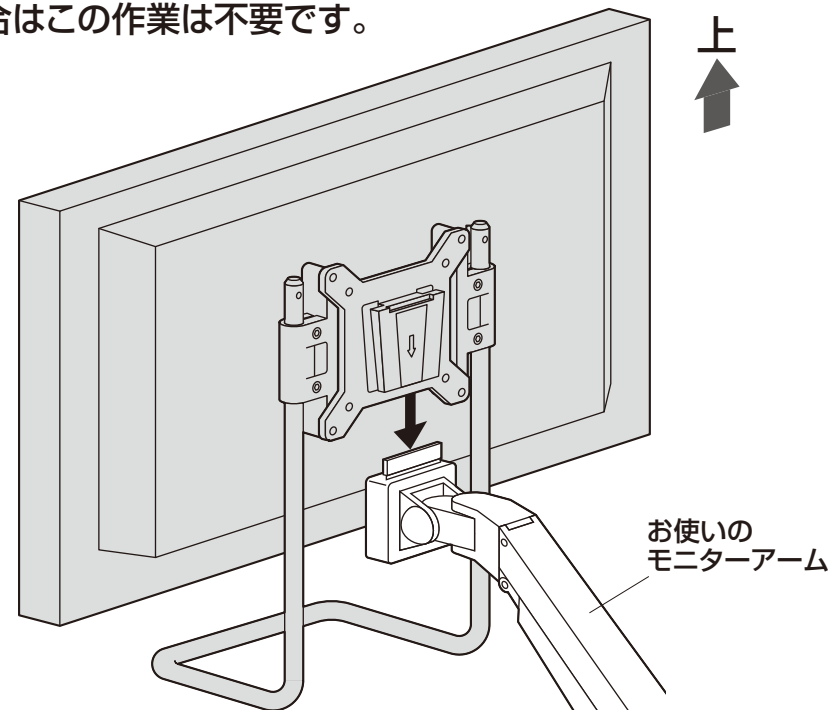
⚠ 注意 ⚠

ハンドル部分に負荷をかけたり、モニターアームの限界を超える負荷をかけないでください。

⚠ 注意 ⚠

指などを挟まないように十分ご注意ください。

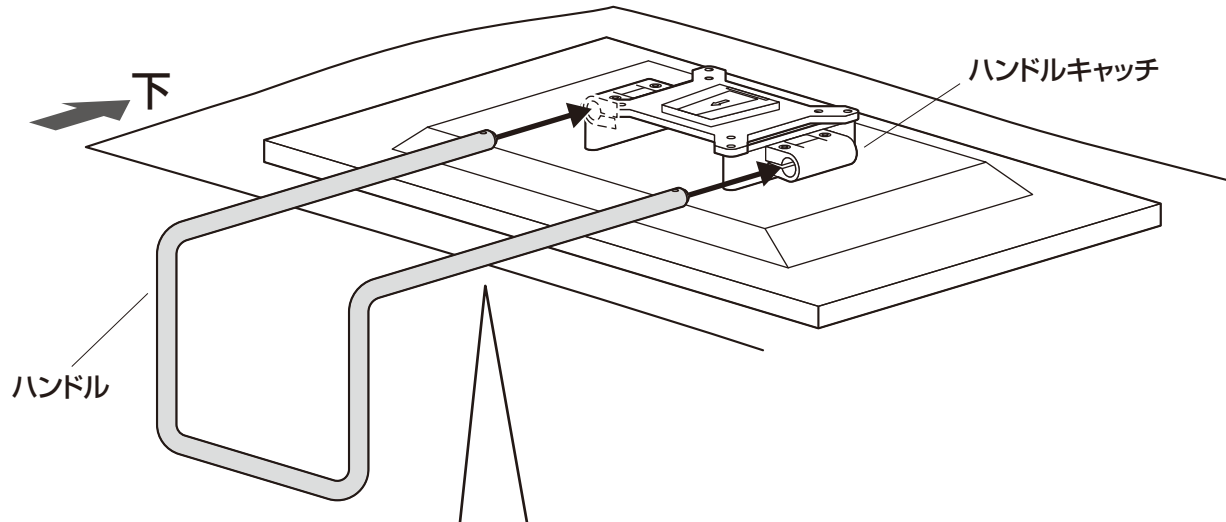
※ブラケット一体型モニターアームの場合はこの作業は不要です。



B ハンドルをディスプレイの上に取り付ける場合

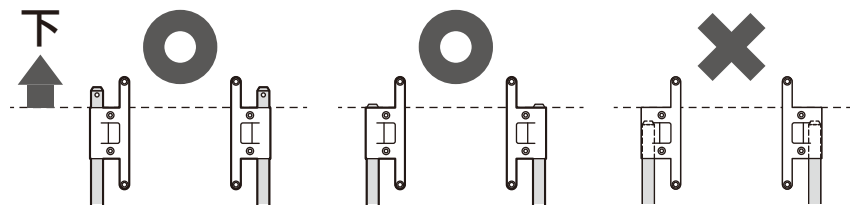
4 ハンドルをハンドルキャッチの穴に通します

※下図はブラケット着脱式モニターアームのイラストになっています。



ハンドル下端部はハンドルキャッチの穴より下に出してください。

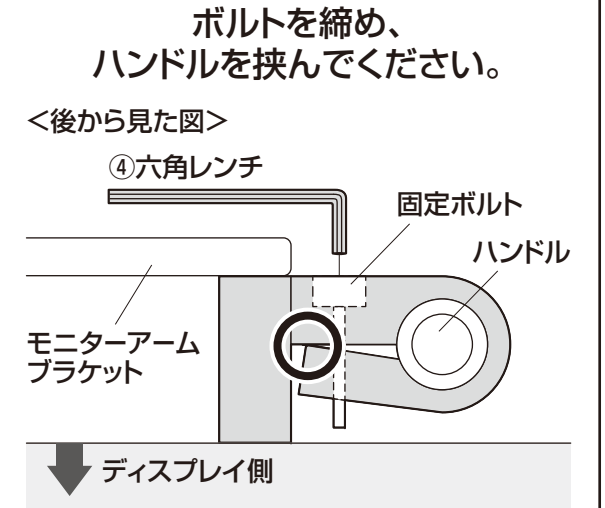
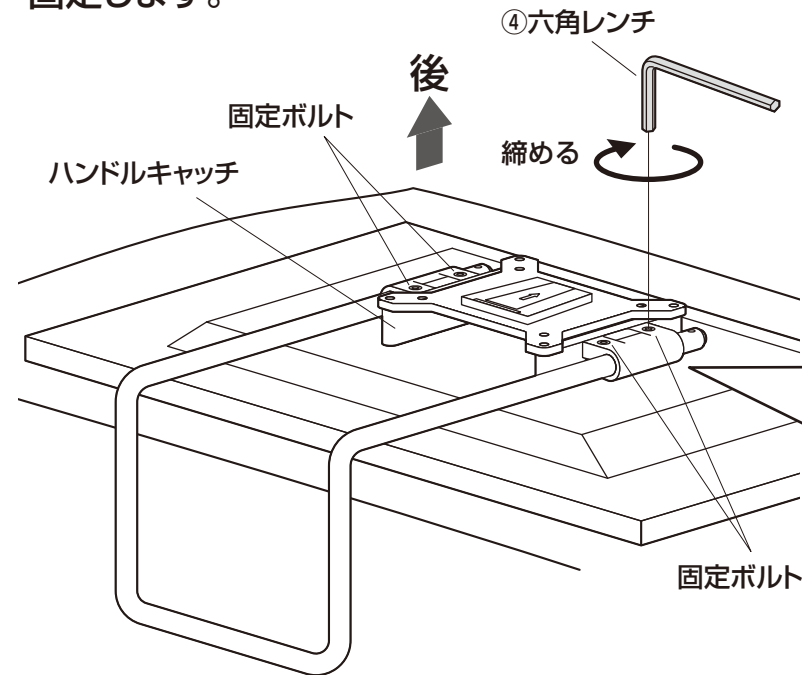
※ハンドルが外向きに広がっている場合、少し内側にすぼめるとハンドルキャッチの穴に通しやすくなります。



5 ハンドルキャッチを固定します。

※下図はブラケット着脱式モニターアームのイラストになっています。

ハンドルキャッチの固定ボルトを締め付けて固定します。



※固定ボルトを必要以上に締め付けると、ハンドルキャッチやハンドルが破損する恐れがあります。
※締め付け後はハンドルにグラつきがないかを必ず確認してください。

6 モニターアームにディスプレイを取付けて完成です。

⚠ 注意 ⚠

この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

⚠ 注意 ⚠

ハンドル部分に負荷をかけたり、モニターアームの限界を超える負荷をかけないでください。

⚠ 注意 ⚠

指などを挟まないように十分ご注意ください。

※ブラケット一体型モニターアームの場合はこの作業は不要です。

